

議員が聞きました
町の“いま”と“これから”
一般質問



12月会議では3人の議員から3件の質問がありました。

【一般質問】町の色々な課題等について、議員が町長等に対して質問や提案をすることです。



藤山 大議員

オープンキャンパスで高校の魅力化にはドローンも含まれていると感じました。ドローンサッカーについて教育長に伺います。

- 1 指導者はどうするのか
- 2 一人一台のドローンの提供を検討しては
- 3 高校を応援するふるさと納税等の考えは
- 4 2025年にはワールドカップが予定され、国内でも選手の育成が始まっているが、**同好会・部活動として育成する考えは**

動画は
こちら



教育

問

ドローンサッカーを
強力的に推進してはどうか

答

D X 体験授業の中で推進する

小野寺教育長

- 1 **福島商業高校D X 体験授業**で、専門知識や技術を身に付けてもらいたいと考えている。
- 2 現在考えていない。
- 3 企業版ふるさと納税で数社より寄附をいただいている。
- 4 **まずは興味を持つ生徒を増やしたい。**一定の技術が認められた場合、日本ドローンサッカー連盟主催の北海道大会を目標とする。



熊野 茂夫議員

町長は9月会議の所信表明において「**持続可能な“まち”**」を町民と共に創るため、選挙公約に掲げた6つの約束・政策を実践的かつスピード感を持って取り組んでまいります。と述べられました。

当町の人口は3,500人を下回りました。4年後には高齢化がさらに進み、町の規模も小さくなるなか、**町長はこの「持続可能な“まち”**」をどんな形でイメージし、町民に参画を求められるのか伺います。

動画は
こちら



行財政

住民
活動

問

持続可能な“まち”への
町民の参画は

答

自主的に様々な会議を通じて
直接対話すること

鳴海町長

人口の減少幅を緩やかにすることが、「持続可能な“まち”」に繋がると考えている。まちづくりの主役である町民が自主的にまちづくりに参画し、町民の代表である議会と推進役の行政が協働で作り上げる「まちづくり」をイメージしている。

町民の参画は、町政懇談会や様々な会議を通じて意見をいただき、町民の方々と直接対話することで思いや願いをくみ取れると信じて、日々町政と向き合っている。



動画は
こちら



産業

問

どすこい直売所の環境改善は

答

扇風機等の設置を検討中
改修・新設は難しい

杉村 志朗議員

今年の夏は圧倒的な異常気温となりました。どすこい直売所は**電気設備が整備されていないため扇風機なども使用できず、野菜の品質低下や従業員の体調も心配**です。

次の点について町長にお伺いいたします。

- 1 直売所の暑さ対策の必要性
- 2 施設の狭さに対する声を把握しているか
- 3 直売所の新設・改修を考えているか

鳴海町長

直売所の簡易店舗は、町が農業生産の向上等を目的に、町有林の間伐材で制作、設置したもので、農業協同組合が無償貸与を受け、管理・運営している。

- 1 **新年度、電気設備と併せて扇風機等の設置を検討している。**
- 2 そのような要望を伺っていない。
- 3 当初から簡易店舗として設置された経緯があり、現時点で改修・新設は難しい。



ドローンサッカーの様子



ボール状の専用ドローン



どすこい直売所

ドローンサッカーって？

ボール状の専用ドローンを使って5対5で戦う戦略型チームスポーツ。サッカーと似ていますが、ドローンを使うので子供から高齢者まで誰でも参加できます。

ドローンの操作技術向上も期待できます。

どすこい直売所って？

青函トンネル記念館駐車場に設置。毎年6月上旬から10月まで営業し、農協組合員が生産した新鮮な野菜を販売しています。

広さは約7畳（幅6m×奥行2m）で、扉が1つ、窓が3つあります。